

仲間と共に北海道の地でパラダイムシフトに挑む 機能する欠損補綴装置を目指して

～特殊維持機構を活用して～



三浦 知也

演者は以前、欠損歯列に対する補綴設計をこれまで得た経験値だけに基づいて考え、それに則って補綴装置を製作していた。そのような中、製作した補綴装置の設計において、そこに到った「根拠・理由」を的確に説明することができないことに気が付き、自身の未熟さを痛感するようになった。そこから、自身に改善が必要だと考え、社内スタッフに相談することで、患者の顔（表情）や主訴、チェアサイドで繰り返されている治療や欠損に至った経緯・背景等の情報が欠落していたことが原因であると結論付けた。また、テクニシャンからだけでなく、ドクターおよびハイジニストから学ぶことで大きな転機を経たことから、チェアサイドとラボサイドが共に協力していくことの重要性を学んだ。

本講演では、演者の今に至る経緯とともに日常を交えながら、機能する補綴装置を製作するための要点をみなさんと共に学び合えればと考える。

【略歴】

- 2006年 北海道歯科技術専門学校 附属研究科 入学
株式会社プライムデンタル インターンシップ
- 2007年 北海道歯科技術専門学校 附属研究科 卒業
株式会社プライムデンタル 入社
- 2023年 日本歯科技工士会認定講師